

- 問1 戦国大名が「分国法」を制定した主な背景と目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 朝廷から与えられた守護としての特権を誇示し、伝統的な荘園領主の権利を保護するため。
 2. 将軍の命令を全国に徹底させ、守護大名の権限を制限することで幕府の権威を取り戻すため。
 3. 領内の武士や農民の行動を統制し、領国を一つのまとまった組織として安定させ、他勢力との戦いに備えるため。
 4. 海外との貿易を独占し、キリスト教の布教を認めることで南蛮文化を取り入れるため。
- 問2 戦国大名の本拠地として発達した「城下町」の形成と役割について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 大名が家臣や商工業者を城の周辺に集めて住ませ、政治・軍事・経済の拠点とした。
 2. 農民が武器を持って城下町に集まることを推奨し、有事の際の防衛力を高めた。
 3. 戦乱による被害を避けるため、城の周囲には武士のみを住ませ、商人には立ち入りを禁じた。
 4. 海外との貿易を独占するため、すべての城下町は海岸沿いの港町に隣接して造られた。
- 問3 15世紀に発生した応仁の乱以降、室町幕府の権威が衰退したことで、家臣が主君を倒したり、地方の武士が守護大名を追放したりして実権を握る事例が全国で見られるようになりました。このように、実力のある者が上の身分の者の地位を奪う社会的な風潮を何と呼びますか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 下剋上
 2. 版籍奉還
 3. 尊王攘夷
 4. 一揆
- 問4 室町時代から戦国時代にかけて見られた、実力のある下の者が上の者を倒し、その地位を奪い取るという社会的な風潮を何と呼びますか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 寄合
 2. 下剋上
 3. 下請け
 4. 惣村
- 問5 鉄砲の伝来がその後の日本の戦い方や社会に与えた影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 外国との交易が危険視されたため、すぐに鉄砲の使用や製造が全面的に禁止された。
 2. 集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。
 3. 武士個人の技術がより重視されるようになり、刀や弓矢による一騎打ちが増加した。
 4. 鉄砲の製造が困難であったため、一部の特権階級のみが儀礼用として保持した。
- 問6 16世紀半ば、フランシスコ・ザビエルらイエズス会の宣教師が日本を含むアジアなど世界各地へ布教に赴いた歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
1. マルコ・ポーロが『世界の記述（東方見聞録）』で日本を黄金の国と紹介したため
 2. 十字軍の遠征が失敗し、キリスト教徒が住む場所をアジアに求めたため
 3. ヨーロッパで始まった宗教改革に対し、カトリック教会が勢力を立て直そうとしたため
 4. 産業革命によって生産された工業製品を販売する市場を求めていたため
- 問7 室町時代後半から戦国時代にかけて見られた、身分や立場が下の者が、実力によって上の者に打ち勝ち、その地位を奪う社会的な風潮を何といいますか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 一向一揆
 2. 御成敗式目
 3. 尊王攘夷
 4. 下剋上
- 問8 石見銀山から産出された銀は、16世紀後半から17世紀初めにかけて世界の銀産出量の約3分の1を占めていたとも言われています。この銀山で生産を支え、日本の銀が国際社会へ大きな影響を与える要因となった技術的背景として正しいものを選んでください。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 明治維新以降、フランスの技術を取り入れた官営模範工場として整備されたこと
 2. 灰吹法という、鉛を用いて銀を抽出する高度な精錬技術が導入されたこと
 3. たたら吹きという、鉄を精錬するための日本独自の製鉄法が応用されたこと
 4. 足尾銅山鉱毒事件を教訓にした、公害を出さない最新の濾過技術が開発されたこと
- 問9 1543年にポルトガル人を乗せた船が現在の鹿児島県にある島に漂着し、日本に初めて火縄銃が伝えられました。この出来事がその後の戦国時代の戦い方に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 騎馬武者同士による一騎打ちが戦いの中心となった。
 2. 足軽などの歩兵による集団戦法が重視されるようになった。
 3. 接近戦を防ぐために、城の石垣をあえて低く築くようになった。
 4. 弓矢が全く使われなくなり、すべての兵士が銃を装備した。
- 問10 戦国大名が定めた「分国法」に見られる特徴や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 江戸幕府が諸大名を統制し、勝手に城を修理することを禁じようとした
 2. 鎌倉幕府が御家人たちの土地争いを公平に解決するために制定した
 3. 領国内での私的な争いを禁止し、大名による裁判権を確立しようとした
 4. 天皇や公家の行動を厳しく制限し、政治に関与させないようにした
- 問11 1543年に種子島へ鉄砲が伝来したことは、その後の戦国時代の戦い方や社会にどのような変化をもたらしましたか。最も適切な説明を選んでください。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 弓矢や刀剣が全く使われなくなり、すべての兵士が鉄砲のみを装備して戦うようになった
 2. 騎馬武者による一騎打ちが戦いの主流となり、個人の武勇がより重視されるようになった
 3. 足軽による集団戦法が普及し、強力な攻撃を防ぐために城の造りがより堅固になった
 4. 鉄砲の製造に高度な技術が必要だったため、戦国大名同士の争いが一時的に停止した
- 問12 室町時代後半に見られた、実力で上の身分の者を圧倒する社会的な風潮の中で、それまでの守護に代わって台頭した勢力があります。自らの力で領地を拡大し、独自の法律である「分国法」などを定めて領国を支配したこれらの勢力を何と呼びますか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 地頭
 2. 戦国大名
 3. 守護大名
 4. 御家人
- 問13 戦国時代、室町幕府の支配力が弱まる中で、各地の戦国大名が自らの領国内の家臣や領民を統制するために独自に定めた法律を何と呼びますか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 武家諸法度
 2. 公事方御定書
 3. 御成敗式目
 4. 分国法（家法）
- 問14 戦国時代の甲斐国（現在の山梨県）を治めた武田氏が定めた「甲州法度之次第」のように、各地の戦国大名が領国支配のために定めた法について、その特徴を説明したものとして適切なものはどれか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 全国の公家を統制し、儀式や行事のあり方を細かく規定することで天皇の権限を制限した。
 2. 家臣同士の私的な争いを禁じる喧嘩両成敗などの規定を設け、大名による裁判権を強化した。
 3. 鎌倉幕府が定めた御成敗式目をそのまま引用し、全国一律の公平な裁判を保証した。
 4. 朝廷が定めた律令制度を復活させ、中央集権的な国家体制を再構築することを目指した。